



# 石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査

平成30年度要求額  
372百万円（203百万円）

## 背景・目的

石綿による健康被害の救済に関する法律案に対する附帯決議（平成18年1月）

「石綿に暴露した可能性のある周辺住民に対する健康相談及び問診の実施や、さらに医学的に必要と認められる住民に対する定期的な経過観察等、健康管理対策を図るよう努めること。」

第1期・第2期における石綿の健康リスク調査の主な結果と考察について（石綿の健康影響に関する検討会）（平成28年3月）

「健康管理を行うに当たっては、健康管理による不安減少等のメリットと検査に伴う放射線被ばくのデメリットを踏まえて、放射線画像検査のみならず健康相談等を組み合わせて、効果的・効率的な健康管理の在り方を検討する必要がある。」

石綿健康被害救済制度の施行状況及び今後の方向性について（中央環境審議会環境保健部会 石綿健康被害救済小委員会）（平成28年12月）

「石綿ばく露による健康不安に対応するため、試行調査を地方自治体の協力を得て対象地域の拡大に努めながら継続し、（中略）、効果的・効率的な健康管理の在り方について引き続き検討していくべきである。」

## 事業概要

（対象者）

かつて石綿取扱い施設が稼働していた地域等の住民

（実施項目※1）

石綿ばく露状況の聴取、石綿ばく露の評価、保健指導 等

※1 肺がん検診等で実施する胸部X線検査の画像を活用する等、可能な限り、既存の検診事業と一体的に実施  
対象者の選定、検査頻度の適正化等により、放射線被ばくの影響を可能な限り低減

## 事業スキーム

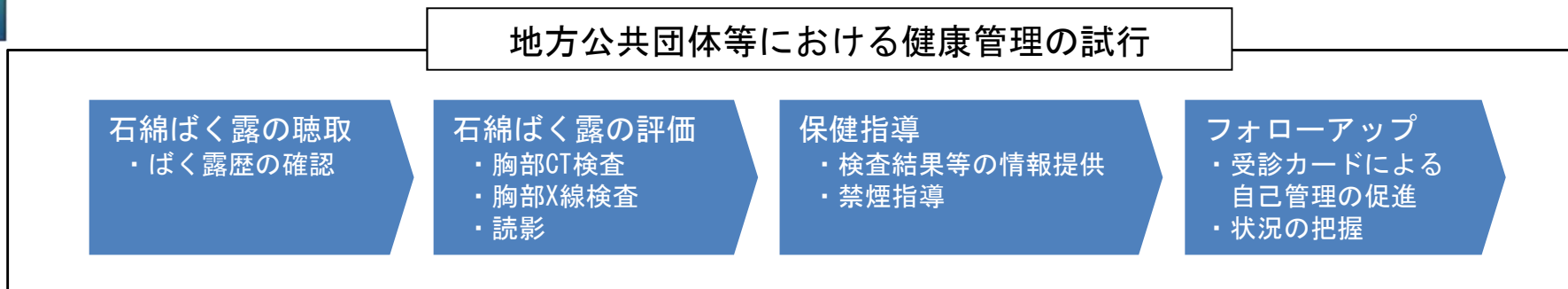


## 期待される効果

健康管理の試行的実施による

- ・実務的な課題の抽出
- ・調査参加者の不安の軽減
- ・石綿健康被害救済制度による早期の救済・支援

## イメージ



石綿ばく露者の健康管理の在り方検討のための課題抽出